

令和元年度 事業報告

<概要>

丹後王国「食のみやこ」は、丹後地域における農業や観光振興、都市農村交流の拠点施設として平成10年4月に農業公園「丹後あじわいの郷」として開園し、平成27年4月に「丹後・食の王国」プロジェクトの拠点施設 丹後王国「食のみやこ」としてリニューアルオープンした。令和元年度はリニューアル5年目として、食を通じた丹後地域の魅力の発信や丹後地域2市2町と連携した取組だけでなく、従来の農業実践学舎や海の民学舎、食人材学舎など多様な人材育成の取組を推進した。また、丹後王国「食のみやこ」の3つのコンセプト（①丹後の本物の食を味わう拠点、②10次産業化の拠点、③丹後観光のゲートウェイ）の具現化に向けた事業展開を行った。

「公益目的事業：地域交流イベント等の実施により丹後地域の活性化を図る事業」については、①異業種交流セミナーの開催 ②「京都・丹後食の王国」イベント開催 ③丹後地域の活性化を目的とした多様な人材の育成 ④観光ゲートウェイとして丹後地域の情報を広く発信 について重点的に実施した。

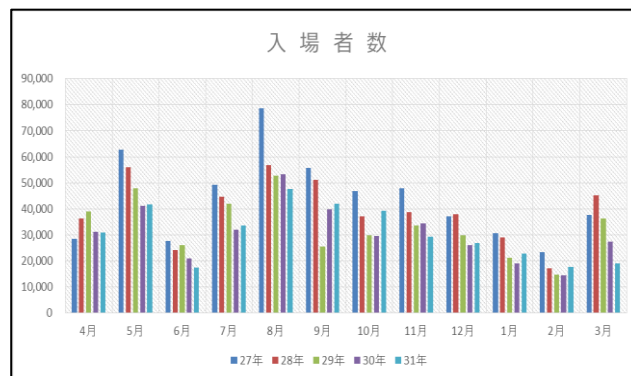
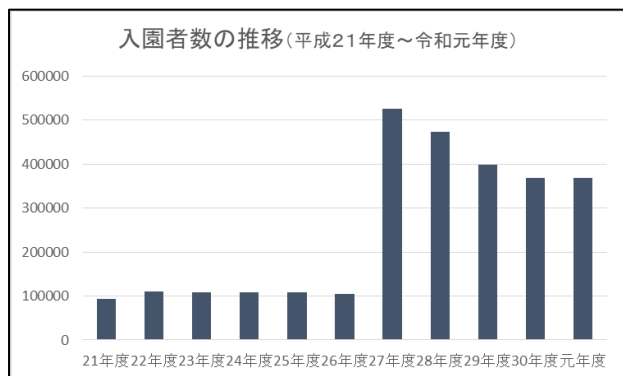
具体的には、丹後地域の農業者と調理を学ぶ高校生や料理関係者との交流会、丹後王国祭など丹後の食材や特産品をテーマにしたイベントの開催、近未来技術シンポジウムや食人材学舎での実践販売研修会・シンポジウムなどによる人材育成を実施した。

また、今年度からはインフォメーション業務に専門の人員を配置し、1年を通じて丹後地域の観光情報の発信や園の案内を行うとともに、フルーツ狩りなど農業体験の受付業務を通じて体験型「道の駅」の充実を図った。

施設の管理運営業務については、株式会社丹後王国へ委託し、協力して入園者の安全確保や良好な施設環境の維持を行い、入園者の増加を目指すとともに老朽化施設の整備・更新を積極的に行った。

令和元年度の入園者数は、2月までは台風などの影響で前年を下まわった月があるが、全体的には昨年度実績を上回るなど非常に好調であったが、新型コロナウイルスの影響で3月は対前年度70%と大きく落ち込み、36万8千人と昨年の入園者実績（36万9千人）をやや下まわる結果となった。（対前年度99.7%）

ホテルの宿泊者数は昨年の9,067人に対し、対前年度84%の7,642人となった。1月以降はビジネス客の増加により回復傾向であったが、新型コロナウイルスの影響で、3月からキャンセルが増加しており厳しい状態となった。



<実施事業>

I 地域交流イベント等の実施により丹後地域の活性化を図る事業

以下のとおり、異業種交流の推進、「京都・丹後食の王国」関連イベントを開催して丹後地域の活性化を図った。

1 異業種交流セミナー等の推進

- 丹後王国「食のみやこ」を会場として、京都府自動車整備組合、獣医師会、農業法人、福祉団体、地元高校など丹後地域の様々な分野の団体が参加した「丹後ビストロマルシェ」を開催。（9月）
- 「京丹後商工祭」の開催に協賛するとともに、近未来技術シンポジウムを同時に開催し、来園者にドローン操縦の体験会を実施した。（10月）
- 丹後王国「食のみやこ」協力会会員等による運営会議を開催し、イベントの企画・運営について協議するとともに、今後のあり方等について検討、意見交換をした。
- 農業分野と福祉分野の連携事業「ノウフクマルシェ」において農業体験や農産加工品販売会や舞台発表を実施した。
- 丹後地域の病院関係者や看護協会主催で、「看護の日」の啓発活動としてAED体験、簡易健康診断を実施し、医療分野との交流を行った。

2 「京都・丹後食の王国」イベントの開催

次のとおり、海の京都DMOをはじめとする観光団体等との広域連携事業、地域の教育機関との連携による利用拡大、京都「丹後・食の王国」構想の推進等に努めた。

(1) 広域連携事業の実施（観光団体等との連携）

イベント名	実施日	集客数等
四周年感謝祭（丹後王国祭）	4月13日	1,400人
3×3バスケット(TOKYO2020 参画P)	4月28日	4,899人
京都府看護協会イベント	5月12日	1,729人
GO-TAN（アニメイベント）	5月19日	1,638人
やさか納涼祭	7月20日	7,338人
網野高校お化け屋敷	8月5～10日	5,881人
日進製作所・タンゴ技研納涼祭	8月11日	1,852人
丹後半島ラリー2019	8月25日	4,875人
道-1 グランプリ 2019	9月21,22日	13,474人
丹後ビストロマルシェ	9月28,29日	5,610人
京丹後商工祭	10月26,27日	14,349人
お魚まつり	11月16日	2,844人
カウントダウン2020	12月31日	2,435人
高校生レストラン	2月16日	1,086人

- (2) 各観光施設、海の京都 DMO、観光協議会（情報発信、誘客）等との連携
 - 海の京都 DMO 主催イベントに出演、出店

- (3) 教育機関との連携による利用拡大
 - 丹後地域の幼稚園、保育所等での遠足等で利用
 - 子供会、親子行事の利用
 - 丹後地域の高校再編に伴う新設高校（4月開校）との連携強化に向けた協議を開始

- (4) 京都「丹後・食の王国構想」の推進（地元産物の販売促進と活用）
 - 地元農業者との連携
 - ・漁協によるズワイガニの展示
 - ・「フルーツ王国やさか」におけるフルーツ狩りの窓口業務の実施
 - フルーツ祭
 - 旬のフルーツの試食・販売会

- 京都錦市場「丹後 T A B L E」出店への協力

II その他の主要な事業

1 公園施設管理及び公園

京都府、京丹後市から借り受けた丹後王国「食のみやこ」用地及び施設等の管理を行い、（株）丹後王国へ運營業務を委託した。

(1) 公園施設の管理業務

- 施設修繕事業
 - ・電話回線（園内地下ケーブル内）の取替
 - ・ホテル丹後王国内空調設備修繕
 - ・メイン駐車場区画ライン（白線）、及び停止線補修
 - ・汚水処理施設調整槽ポンプ取替
 - ・丹後茶寮給水管取替
 - ・芝生広場内汚水管補修工事（老朽管取替）
 - ・レストラン山と海ガス給湯器取替
 - ・浄化槽アラームポンプ分解点検
- 丹後王国「食のみやこ」設備等強化委託業務
 - ・製品用セパレート型プレハブユニット冷蔵庫（ソーセージ工房）1基
 - ・製品用セパレート型プレハブユニット冷凍庫（ソーセージ工房）1基
 - ・空調設備更新（レストラン山と海）
 - ・空調設備更新（チーズ工房）
 - ・真空包装機（ソーセージ工房）
 - ・空調設備更新（安寿ベーカリー）
- 丹後王国「食のみやこ」木質化事業委託業務
 - ・木製机、椅子導入（七姫殿）

(2) 公園施設運營業務委託

業務委託先 (株)丹後王国 代表取締役 中川正樹

2 自然環境学習、農林漁業体験の企画と実施、

- (1) 園内及び隣接する農園等において、果樹（ブルーベリー、桃、梨、メロン等）やサツマイモの収穫体験の実施
- (2) 園内の森林を活用した、山野草観察ツアーの実施
- (3) 食を楽しみながら学ぶ機会の提供
 - ・手作り体験教室（成形パン、アイスクリーム作り等）

3 10次産業化人材の育成

「京都府海の京都食人材学舎」において、丹後地域の生産者による地域食材を使った調理・加工・販売等の6次産業化のアウトプットとして、地域と連携した新たな加工品やメニューの開発を目的とした研修を実施

- ・農水産加工研修（11月27日～2月26日：4回） 8人
- ・農山漁村起業化研修（1月31日）シンポジウム 30人

4 広報宣伝

- HP、府・市町の広報誌での広報、新聞社、FM京都等報道機関への情報提供
- 新聞紙上、イベントプログラムへの掲載広告
- 京都府内「道の駅」連携によるスタンプラリーの実施

<会議> 理事会等の開催及び議決事項

日時	理事会別	議決等事項
令和元年 6月3日	第1回 理事会	○平成30年度事業報告について ○平成30年度収支決算について ○理事選任を評議員会の議案とすることについて ○第1回評議員会を招集することについて
令和元年 6月27日	第1回 評議員会	○評議員の選任について ○平成30年度収支決算について ○理事の選任について 報告 平成30年度事業報告について 報告 公益目的支出計画実施報告書について 報告 令和元年度事業計画及び予算について
令和元年 6月29日	第2回 理事会	○一般財団法人丹後王国食のみやこ 役員について ○第2回評議員会を招集することについて
令和2年 3月9日	第3回 理事会	○令和元年度収支予算の補正について ○令和2年度事業計画について ○令和2年度収支予算について 報告 定款第21条第5項に基づく職務執行状況の報告